

シラバス 国語科

教科名	第1学年 国語科	担当者	豊永 拓大
-----	----------	-----	-------

【 学習到達目標 】

- ・ 語彙力を高め、自分の考えや思いを的確に伝えることができる。
- ・ 学習を通じて、話の趣旨をつかむことができたり、相手の思いを適切に受け止めたり、自分の考えや事実などを適切に述べたりすることができる。
- ・ 話の内容や文章の大切な部分を適切に読み取り、自分の考えを持ち、言葉にすることができる。
- ・ 読書を通じて、新たな知識や様々な立場や角度からの考えを理解する。
- ・ 国語に興味を持ち、探究していく姿勢を養う。

【 学習方法やポイント 】

- ・ 毎時間、漢字の学習を行います。丁寧に書くことを継続しましょう。
- ・ 黒板に書かれたことだけでなく、自分で調べたことをメモするようにしましょう。
- ・ 国語の学習にこだわらず、様々な事柄に積極的に興味をもち、調べましょう。
- ・ 積極的に参加し、挑戦をしていきましょう。
- ・ 文章を読む機会を増やしていきましょう。
- ・ 文章を書くことをいとわず、思いを言葉にするようにしましょう。

* 下記の予定表は都合により学ぶ順番が変わることがあります。

【 年間学習計画表 】

学期	単元・題材名	主な学習内容	学習のねらい
1 学期	「野原はうたう」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 詩の音読。 ・ 詩の内容を読み取る。 ・ 表現技法を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 詩の中に隠された作者の思いを読み取り、表現する。 ・ 読み取った思いを共有することで、様々な受け取り方があることを知る。
	「シンシュン」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 物語の読解。 ・ 心情表現に注目して読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 心情描写を知ることによって、登場人物の心情の変化を探ることができるようにする。
	「情報を読み取るう」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引用の方法を知る。 ・ 集めた資料から情報を読みとる。 ・ グラフの特徴を知り、適切なグラフを使用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 挙げられたグラフから必要な情報を読み取る力を養う。 ・ 伝えたい情報がよりよく伝わるように、適切なグラフを知る。
	「ダイコンは大きな根？」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 説明文の構造を理解する。 ・ 段落の関係性を知る。 ・ 接続語の意味を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 序論本論結論の流れを知る。 ・ 接続語の役割を知り、段落のつながりを知る。
	「ちょっと立ち止まって」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 説明文の構造を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 説明文の構造を駆使して、筆者の主張をくみ取る。 ・ 日常生活において、見方を変えることを考える。
	「言葉のまとまりを考える」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文法の基本を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉のまとまりを理解することで、文法の基本を学ぶ。 ・ 知識だけでなく、自らの日常に即して考えることができる。

	「言葉の関係を考えよう」 「話の構成を工夫しよう」	・文節の関係を知る。 ・話の構成を考え、文章を書く。	・文節の関係を知り、文の組み立てを理解する。 ・聞き手に伝わるように話の構成を考える。
2 学 期	「詩の世界」 「比喻で広がる言葉の世界」 「指示する語句と接続する語句」 「大人になれなかった弟たちに……」 「『言葉』をもつ鳥 シジュウカラ」 「いろは歌」 「竹取物語」 「今に生きる言葉」 「少年の日の思い出」 ・書写	・詩を味わう。 ・登場人物の心情を考える。 ・指示語、接続語について学ぶ。 ・描写から、心情を推測する。 ・筆者の意見と、意見を支える根拠との関係を理解する。 ・古典の仮名遣いを知る。 ・古典特有のリズムを味わう。 ・古典に親しむ。 ・漢文の言い回しに親しむ。 ・故事成語について学ぶ。 ・登場人物の関係を把握する。 ・心情表現に着目する。 ・硬筆を学習する。 ・毛筆を学習する。	・詩のもつ特徴を理解し、内容を味わう。 ・表現技法を学ぶ・時代背景に触れ、登場人物の心情を考える。 ・働きを理解し、文章の構成や展開をつかむ手掛かりを理解する。 ・表現が持っている意味に触れる。 ・図と意見を対応させる。 ・各章の内容を的確にまとめる。 ・古典の導入として、歴史的仮名遣いの規則を学ぶ。 ・日本最古の物語である「竹取物語」を読み、古典の基本的な規則を知る。 ・物語から分かる、歴史的な背景を探る。 ・故事成語の成り立ちを知り、言葉の意味を理解する。 ・漢文の言い回しを理解する。 ・場面転換での登場人物の変化に注目しつつ登場人物の心情の変化を捉える。 ・文字の基本を再確認する。 ・楷書や行書の特徴について学ぶ。 ・ひらがなの特徴を考える。
3 学 期	「『不便』の価値を見つめ直す」 「随筆二編」 ・「単語の性質を見つけよう」	・必要な情報を取り出し、結び付けて要約する。 ・随筆について知る。 ・文章中の語句に着目し、語感を磨く。 ・単語の働きを知る。	・筆者の主張を要約し、それに対する自分の考えを持つことで、文章を味わう。 ・随筆を理解することで、文章の内容について深く理解する。 ・筆者の思いを想像する。 ・自立語、付属語について知る。 ・それぞれの単語の働きを学ぶ。

【評価について】

以下の3つの観点に基づき、みなさんの学習の様子を総合的に評価します。

○知識・技能

主に小テスト、定期テスト、授業での課題、提出物、レポートから評価します。

○思考・判断・表現

主にスピーチ、小テスト、定期テスト、授業での課題、提出物、レポートから評価します。

○主体的に学習に取り組む態度

主に授業中の様子、小テスト、振り返り活動、提出物、「知識・技能」、「思考・判断・表現」の評価項目から評価します。